

# I 鳥取県の住みやすさについて

問1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか。(〇は1つ)

～鳥取県に対しての愛着や誇りを感じている人が約7割～

鳥取県に対する愛着や誇りは、「感じている」が46.5%、「少し感じている」が25.1%と、愛着や誇りを感じている人が71.6%と約7割ある。一方、「感じていない」が1.9%、「あまり感じていない」が3.9%と愛着や誇りを感じていない人は、5.8%と1割にも満たない。

平成28年度と比較してみると、平成29年度では、「感じている」が5.1ポイント、「少し感じている」が2.4ポイント減少している。また「普通(どちらともいえない)」は8.2ポイント増加している。

年代別でみると、愛着や誇りを「感じている」、「少し感じている」を合わせた割合は、30歳代(66.5%)が最も低く、逆に60歳代以上では他の年代と比較して高くなっている。

性・年代別でみると、男性の40歳代(68.2%)、女性の30歳代(61.4%)が「感じている」割合が最も低い。

地域別でみると、中部地区(77.1%)が他の地区と比べ、「感じている」割合が高くなっている。

図1 鳥取県に対しての愛着や誇りについて  
(n=1,450)

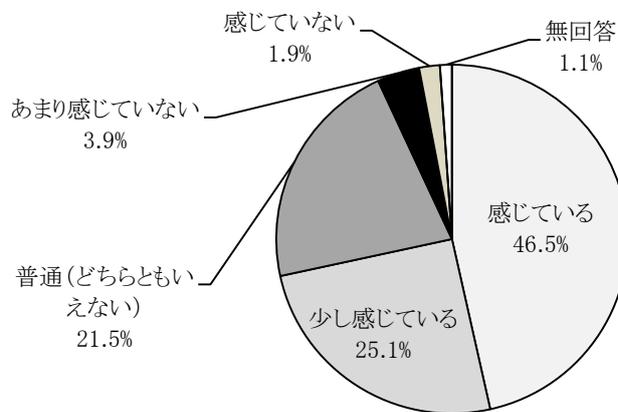


図2 鳥取県に対する愛着や誇りについて

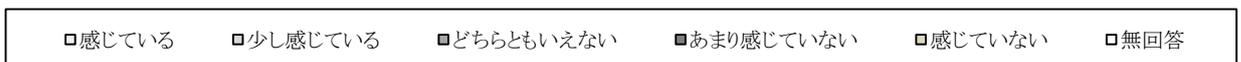
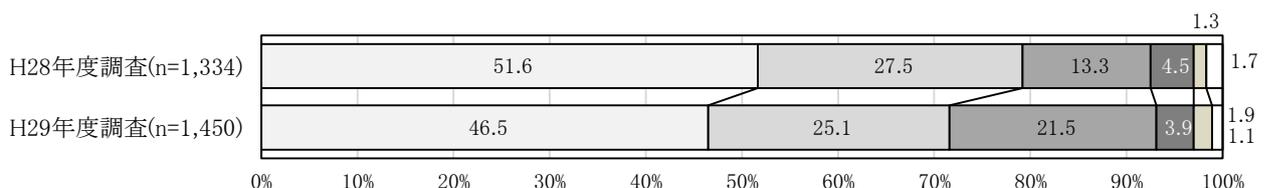
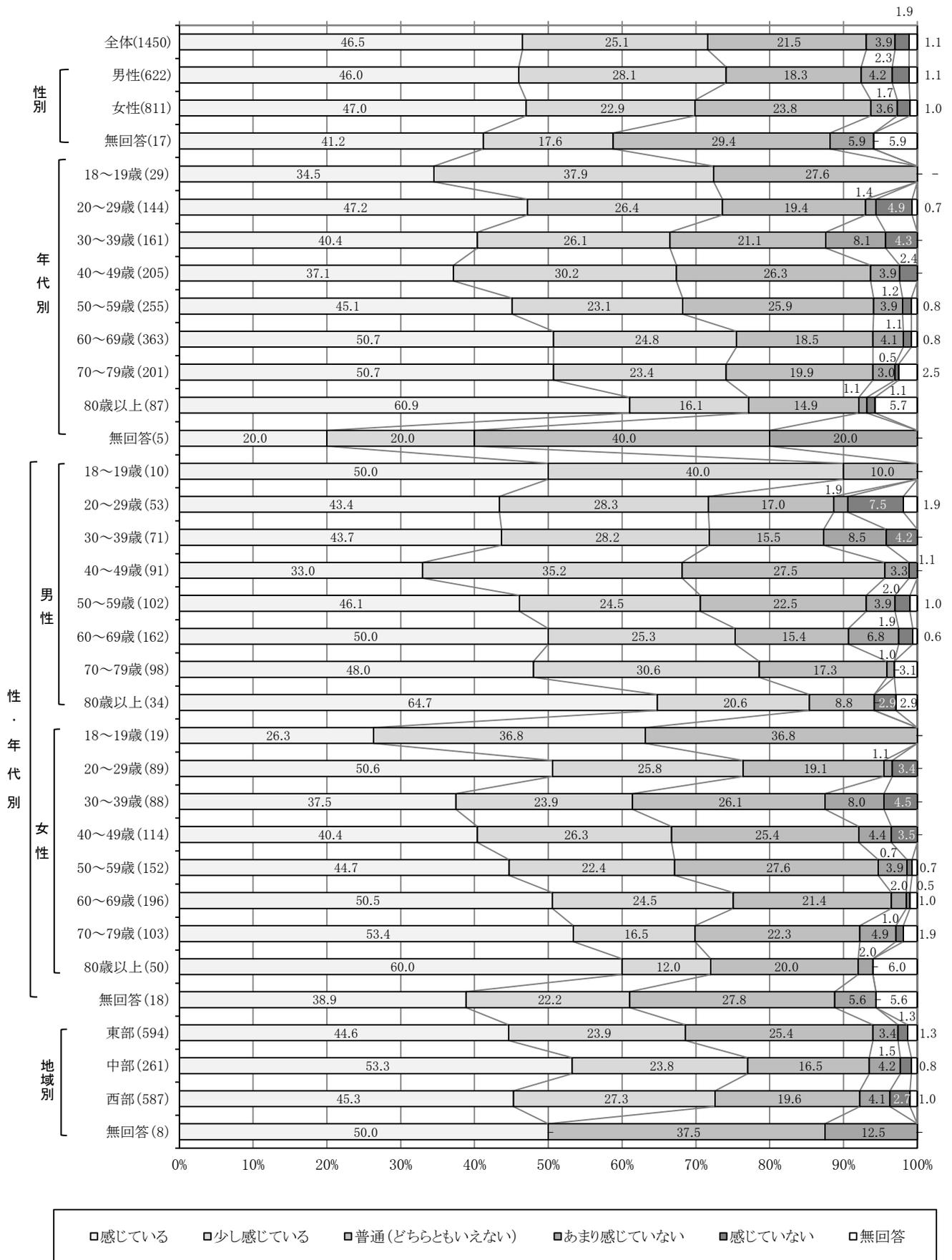


図3 鳥取県に対しての愛着や誇りについて



問2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください。(〇は1つ)

～「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」と6割強の人が住みやすいと回答～

今暮らしている地域の住みやすさは、「とても住みやすい」が20.8%、「どちらかという住みやすい」が43.4%と、今住んでいる地域は、住みやすいと答えている人が64.2%と約6割強ある。一方、「住みにくい」が2.1%、「どちらかという住みにくい」が7.9%と、住みにくいと答える人は10.0%と1割となっている。

28年度との比較では、「とても住みやすい」が3.4ポイント、「どちらかという住みやすい」が7.3ポイント減少し、「普通(どちらともいえない)」は10.0ポイント増加している。

性・年代別でみると、「とても住みやすい」、「どちらかという住みやすい」を合わせると、男性は70歳代(71.4%)、女性は50歳代(68.4%)が最も高くなっている。

地域別でみると、東部地区(60.8%)が他の地域に比較して住みやすいと答える割合が最も低い。

図4 暮らしている地域の住みやすさ  
(n=1,450)

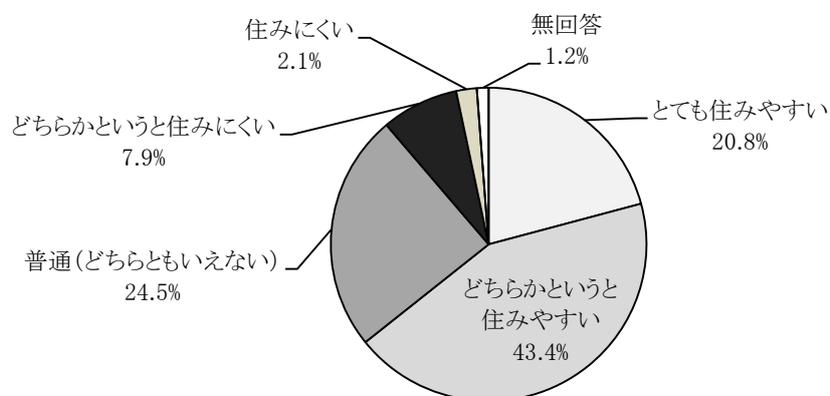


図5 暮らしている地域の住みやすさ

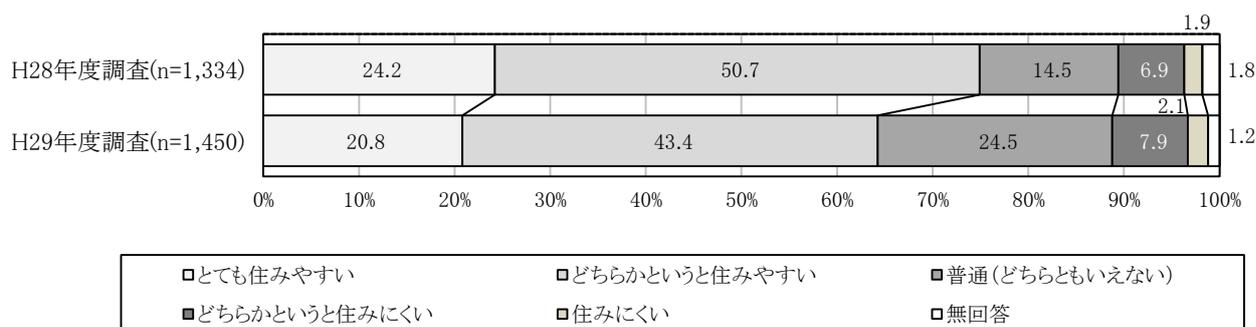
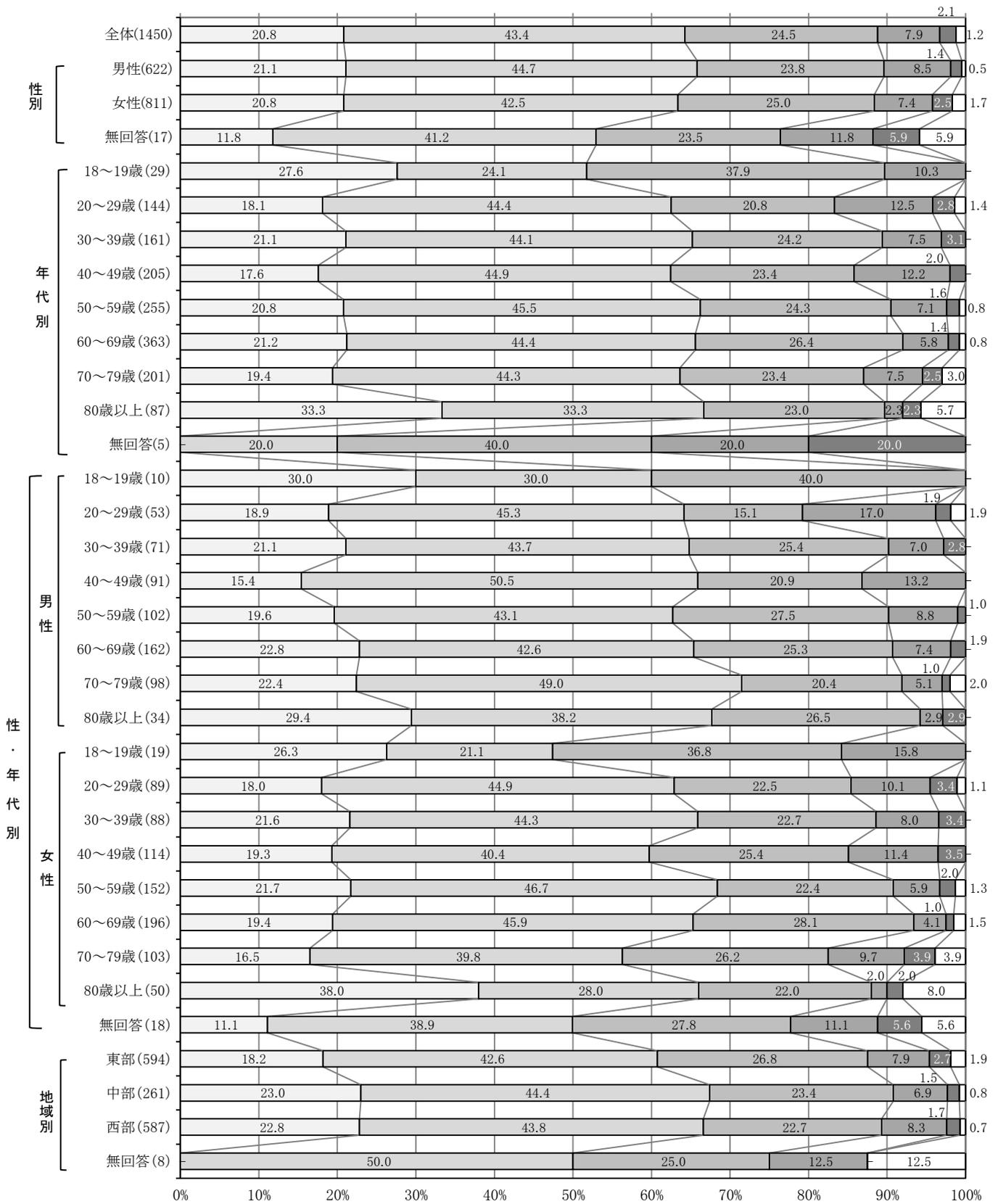


図6 暮らしている地域の住みやすさ



□とても住みやすい □どちらかという住みやすい □普通(どちらともいえない) □どちらかという住みにくい □住みにくい □無回答

問3 あなたが今、鳥取県内に暮らしていて、次の項目（設問）についてどう思われますか、項目ごとに表中のいずれかに○を記入してください。

～「豊かな自然環境に恵まれている」と感じている人が約9割～

鳥取県内に暮らしていて良く感じる（そう思う）項目は、上位項目では「豊かな自然環境に恵まれている」が89.0%と最も割合が高く、次いで「地域の治安が良いと感じている」が61.6%、「住んでいる住民（県民）が親切である」が56.2%、「地域での人と人とのつながりがある」が54.8%と続き、自然、治安、人とのつながりの面を鳥取県内に暮らす良い面として答えている。

一方、鳥取県内に暮らしていて良いと感じない（そう思わない）項目は、上位項目では「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」が55.3%で最も割合が高く、次いで「地域の防災組織が整っている」が17.1%、「ストレスなく日常生活を送ることができる」が15.4%、「子どもの教育環境が充実している」が13.7%、「医療や介護の体制が充実している」が13.4%、と続いている。

平成28年度と比較してみると平成29年度では、よく感じる（そう思う）項目は、「子どもの教育環境が充実している（4.5ポイント減少）」、「住んでいる住民（県民）が親切である（3.9ポイント減少）」、「生活するにあたり、公共交通機関が整っている（3.4ポイント減少）」、「地域の防災組織が整っている（3.4ポイント減少）」、「地域の治安が良いと感じている（3.3ポイント減少）」とすべての設問で減少している。

図7 鳥取県内の暮らしについて(n=1,450)

